夕刊
常城新聞
八月二十五日發行
（毎月五拾錢　郵金六拾錢）
（日曜日祭日翌日休刊）
定價　郵金六拾錢　月極五拾錢
廣告料　（特殊廣告　金六拾錢　一段一行　金拾錢）（社會面　一行　金拾錢）
發行所　常城新聞社
發行人　柏木哲
編輯印刷者兼發行人　田中大藏
印刷所　常城市大町
發行所　常城市大町
電話　平局五六番
常城市大町　平局五六番

東北振興策に就て

貴族院議員　金成通

四

第二番目の既存の電氣會社の權利を侵害することはないかと言ふ問題に就きましては、勿論是は御趣旨の通り、電氣會社の權利を侵害すると言ふやうなことは決してない積りであります。

水利權を申請して居るやうなものゝ問題に就きましては、昨日一般に全体と致しまして、の遞信大臣の御答もあつたことでありますから、詳しくは左樣御諒承願ひ度いと思ふのであります。尚供給區域の問題に就きましては、是は大体此の東北の業者は自己發電で、御買を專業と致して居るやうな者は殆ど一つか二つしか御座いませんので、影響があると致しますれば、其の一、二の會社には多少の影響があらうと考へるのでありますけれども、其の他の六十の會社に就きましては、寧ろ此の本會社の供給を受けることゝ依つて利便が增しましても侵害を受けることはない筈だと思ふのであります。

第三番目の金融の問題に就きましては、一般に既存の金融機關の連絡を圖りまして、其の機能を充分に發揮させると云ふことを今日努めて居りますので、昨年來既に勸銀でも特殊の施設が講ぜられ、産業組合中央金庫並に興銀等に於きましては支所なり支店なりを置いて、大いに特別の御盡力を戴いて居るやうな次第であります。

尚供給論是でも不充分であるのの問題は實に東北振興上の大要件であると考へて居りますので、調査局に於きましては、此の點尚一層の研究をして居りますのは、相當の時日を要するのでありまして、其の以外に於きまして緊急に直ぐにも解決が出來やうなことが、まだ外に多々あるのではないかと言ふ御質問に就きましては私共も同樣に考へて居ります。從つて公租公課等の問題に就きましても、調査會に於きましては敏速に調査を遂げやうと言ふ心組に申合を致して居るやうな次第であります。大体左樣御承知願ひます

尚第四番目に只今の御尋ねの會社施設が段々出來て行きますのは、相當の時日を要するのでありまして、其の以外に於きまして緊急に直ぐにも解決が出來やあるか無いかの風なのに

選擧肅正を詠める俳句

小林信陽

肅正の旗ひるかへる出穗の秋　曳地荒村
爽かや廳舍に高く肅正旗　伊達森里
秋晴れや投票箱に吸はれ行く　樋口岩丈
秋雨や投票場に吸はれ行く　小林信陽
肅正の選擧のあとや秋晴るゝ　故大高氷心子
雨晴れて蜻蛉飛びけりそこここに　白倉哉香
稲刈のさ中を選擧違反とて

初戀

きかん坊

あゝ我が胸に　憂を殘し
飛び去りぬ　小鳥の
今日も　そゞろ　慕はしく
此のなやみ　此のもだえを
語らんと　君の
御許に　來は來たれども
あるか無いかの　風なのに

下部溫泉

上原清

五

肌を拭つた……そして遂に丸裸で小さな淵に入つた身・中のけがれた物が、しぼり出される樣に、キユと身がしまる。幼子の樣に便もない、何の氣がねもなはしやいで、ばしや／＼といい、この世界はすつかり僕潜つたり、泳いだり、人氣の心を奪つてしまつた。書をはなれた全くの孤獨で自空と岸と木と水と魚と僕す分の眼前の美しい世界で、慈母のやうに太陽はこの身を溫めて呉れた。何の不

白く泡立つ瀧にも入つた
青黑い淵にも潜つた。水の
底にも誰も居なかつた。全
くの孤獨だ。相當つかれて
から冷えきつた身を大きな
岩の上に横たへた

美した

夕やみがきて、もやが一日の旅行を終えて、又谷間へかへつて來た。ぽーつと全てがかすんで居る中に、湯氣のまつはつた女の肌白く浮んだ

つた。……もし永久に……この寒さか來なかつたら町へ歸へらなかつたらうに……！だけど夕方になると急に冷える、この谷間は、とう／＼僕をば人間界に押もどしてしまつた

細いうなじを　ふるはせて
乙女心は　そんなにも
感じやすい　ものかしら
夢多き二八の花は
散り去りぬ
嬉し思出　泣きし思出

寄五十嵐水産試驗場長

珠雪　小野務平

任得其人歡且迎
轉遷動易缺平衡
多時蹇々匪躬節
努力祇當答聖明

妖しく湯に咲いた女の白い肌
朝もやが一日の旅を終へた
私は人間界に歸つて來た
湯氣が女の肌をもてあそぶ
又もやがのぞき見をする
私は人間界に歸つて來た

（終）

高橋是清

（101）

松浦泉三郎作
佐々木今朝吉畫

8月26日

△相馬大作處刑さる（文政五）△遼陽の大會戰（明治三七）△三島博士の世界的發明MK磁石鋼特許（昭和六）△千曲川で世界一の大鰻捕獲（同一〇）

小說

轉變無限（一）

東京日々新聞社の粗末な應接室に、綿衣綿袴の同年輩の若者が二人、顏を寄せて、對手待つ間の私語を交しあつてゐた

『矢張り駄目らしく思へるが？』

さう言つたのは末松謙澄を訪れたところなので、

『君みたやうに悲觀的にばかゝるから駄目なれば、この學たりものを見る癖はいかんな』

かう言つたのは和喜次である

二人は學費稼ぎの一策に外國新聞記事の飜譯原稿の新聞社への賣込みを考へ出した。當時の新聞は、日々朝野、讀賣、報知の四種では悪く國内の記事のみで、一として外國事情の掲載されてゐるものはなかつた。そして外國事情の許へは、數種の英米新聞が來てゐる。和喜次が先づこゝへ着目したのである

謙澄の英語も相當進歩を示してゐたし、無論不贊成の筈はなく、早速和喜次が口譯し、謙澄が文章にして、數種の見本原稿が出來あがつた。直ぐにそれを持つて朝野から讀賣、報知の順に廻り、談じてみたが、全部拒絶され、今、最後の日々

『君だつたのか』

『意外でした』

和喜次は、言ひながら、立つて謙澄を指し

『末松謙澄、私の朋友ですが』

と、紹介した

『あれから大分苦勞をしたらしく聞いてゐるが、今は『開成學校に通學して居ります』

『復職されたのか？』

『實は……』

和喜次が次第を話すと

『それは面白さうだ』

『少しばかり見本を持參しましたから、御一瞥お願ひします』

原稿を懷中から出すと吟香は興深げに通讀して、それを持つた儘部屋を出たが、間もなく、下僚らしい一人と共に、再び現れて、

『南喜山景雄君。これが今言ふた高橋君、それから末松君……』

と、二人を引合せてから

『今南喜山君とも計らつて見たが、面白いから、早速ながらお願みする事に決めた。就いては、題材は君達にお委せするが、掲載の自由は當方に一任して欲しい料金は四百字詰の原稿紙一枚に就き五十錢と決めたいどうですかな？』

二人共無論否やはなかつた

『結構です。是非……』

同音に答へた

暇を告げて戶外へ出ると

『どうだ！』

と、和喜次が肩を張つた

『月末には豪遊出來るぞ』

『バツバツ……』

『大いにやらう』

二人は聲を上げて快笑した

『あの仁が日々にゐるとは思はなかつた、僥倖だつた全く』

『いや、生徒としてです』

『ホ、ウ』

吟香は吃驚したらしい目を擧げて、

『君らしくて宜い』

『そこで實は、本日はそれを知らずに、お願ひに上りました』

『願ひ……と言ふと？』

産婦人科
外科
藥局
院長　木村寅次郎
醫學博士　内木宗八
藥劑師　大岩俊雄
平町新川町十九番地
入院隨意
病室完備
木村病院
電話一六四番

眼鏡
最新式各國製レンズ
豐富に取揃へて御座います
（亂視用眼鏡即時調製）
方者は正確にして廉價
眼鏡
平町二丁目　電話六〇七

石炭
一〇〇%サーヴ井ス
時節柄ダンゼン値下げ！
一等塊　正味五十斤入一俵　金二拾八錢
特塊　同　同　金二拾五錢
品質が優良（デナケレバ値段バカリ安クトモ結局高イモノニナリマス）
目方が正確
此の點は當店を絶對に御信用願ひます。
▲市内は一俵より迅速に配達致シマス。
電話三七番
石炭　コークス　豆炭
阿部石炭商店

耳鼻咽喉科
高柳醫院
平驛前（電三三六）
醫學博士　高柳博明
（入院應需　自炊ノ便アリ）

美味デ滋養分豐富ナ
にんべんノ
新鰹魚節
出來マシタ。
宍戶屋商店
平町四丁目
電話（鹽干部二一五番）（鮮魚部四〇七番）
日華生命保險株式會社代理店
外務社員募集
（委細面談）

御中元大賣出し
毎度有がたう
新荷取揃へました、御贈答品は是非當店へ
田口はき物店
電三七七番
（商品券御利用下さい）

お盆提灯大賣出し
一見涼風湧く優秀品
特製　新型行燈
變り型は數百種も御座います。
御一覽下さい。
尚本年度より製造元にて新製品は昭和十一年製の責任マークを入れてあります。
御注意下さい。
平二丁目
福多屋

創業以來茲に二十年皆々樣の深甚なる御引立に相成り誠に有難く厚く御禮申上ます。私は創業前東京技藝校を卒へ造花の研究を致して居りますが未だ一人前の藝術家として立つ事が出來ず御滿足を與へる事が出來ません。此後皆樣の御指導の下に一層研究致し度御批判の上御引立御鞭撻下さいます樣切に御願ひ申上ます。
店主　山田信次
祖先崇拜は家庭繁榮の礎
祝弔造花調製
山光堂
平四丁目通り
電話五五〇番
佛壇
金物佛具品
取揃へて有ります。
◎お盆の御用意は！
塗位牌

舊七月一日ヨリ
佛壇及佛器具各種賣出し
舊盆！
年に一度の佛の供養に
何人樣にも御準備を！
種目（佛壇、位牌、佛具、膳、椀、經机、高坏、茶碗、臺、木魚、撞木、經立、珠數、過去帳、輪及臺、線香立、花立、常花、香爐、佛器、ローソク立）
新盆の御家庭へ贈つて喜ばれる佛器具を御勸め致します。
平町三丁目
丸ほん商店
電話三五九番

佛ダン
御位牌
其他佛具一式
舊御盆に際し特に大勉强致します。
平町五丁目
吉野屋漆器店
電話五五四番

お盆提灯大賣出し
絹張燈、牡丹行燈、都行燈、御殿行燈、スダレ行燈、二連行燈、紋大行燈、猫足行燈、其他變り形
他店にては見られぬ特約品澤山取揃へました
平町四丁目角
菅野屋商店
電話一五七
遠近不拘見本は樣參致します。

日本水產特約
御小書員
本鰹
電二二八、三二六番
國は一ツポン。急は漁魚
ヒノマル漁會
花型商標四丁目
印魚問屋
電二二八番
配達ハ一尾一箱ヨリ迅速ニ致マス。
鯛　ビ
白魚
鰹
銀鯛
甘鯛
帆立貝
甲イカ
北寄貝
目拔切身
さに貝燒

兩町村代表八十餘名
膝を交へて合併問答
昨日平窪小學校で懇談會

市制施行を急ぐ平町と平窪村の合併懇談會は既報の如く昨二十四日午後二時半から平窪小學校に

（平町側）市制施行調査委員三十名

（平窪側）村役場　村議　消防　青年團　行政區長　農會關係　其他産業組合有志等約五十名

出席の下に開かれた、先づ草野平窪村長から主催者側を代表しての挨拶あり、同村長を座長に推し、井上議長平町を代表して『市制實施は相互の利益である……』と合併促進を加味した挨拶に次いで質疑應答に入り

財政　産業資源　教育及社會事業施設　警備衛生　土木運輸交通

平町が計劃した市制調査五部門に亘り種々數字的質問あらうと云はれて居るから若し同地先に建設されたなら自然平窪方面も繁華になり種々好影響を齎す事とならう

（井上議長談）各方面に亘る説明で大体は了解がついたらうと思はれるが何せ重大問題だから今後も機會ある毎に懇談をさねばなるまい、あす（二十四日）は濱三郡町村長會に伊藤知事以下が出席するのでこれを機會に平窪村代表者を招いて座談會を開き種々縣の意向なども聽く必算である

（草野村長談）數字的にも種々觀られたから今後はこれを參考にして充分調査檢討した上確固たる態度を決なければなるまい

（平窪鈴木）當村は金融機關其他各方面の施設も完備して居り將來共純農村は大体北目方面が適地であらうと云はれて居るから若し同地先に建設されたなら自然平窪方面も繁華になり種々好影響を齎す事とならう

（平窪松本）當村は金融機關其他各方面の施設も完備して居り將來共純農村で進みたい（賛成の聲）

（平窪松本）平と當村の間は好間川が横切つて居りこれに好間村川中子、關の上部落等が介在して居るから併合は困難だらうと思はれる、それについて今後の方針を承りたい

（野崎）縣當局も兩町村の將來等を考慮に入れて盡力すると言明して居る、又川は寧ろあるが故に文化は進む、錦村の昭和人絹工場等も蛭田川、鮫川等が流れてゐるが故に建設されたものと聞いて居る

（つゞく）

合併問題を俎上に
平、平窪懇談會概要

井上議長立つて

市制を布くには人口三萬以上が條件となつてゐる若し施行されゝば村農會は一躍市農會になる外全般に亘つて地位が向上し村民の文化生活も望めるわけである、市制實施が遅れてゐるが故に地方開發の鍵とも云はれてゐる勿來！久の濱間の國道舗裝工事も福島―郡山間のそれに先廻りされさうな不利な立場に置かれてある、税金關係も決して高くならず、戸數割の如きも現在以上に上げぬ條件が付げられる、市制實施は相互の利益である

と合併促進を含めた挨拶に次いで質疑應答に入る

（平窪松本）當村に對し併合の交渉を進める理由及動機を承りたい

（井上議長）市制を布くた當つて平町は土地が狹い故に隣接村の併合を目論んで居るもので平窪村とは平橋の竣功等縁が深く兩町村民の氣持も融和してゐるので主力を注ぐわけである、早い處から併合して漸次他村に及ぼす考へである

（野崎副議長）獨り平窪村丈けでなく隣接他四ヶ村にも目下交渉を進めて居る、平町にはいま日本ソーダ會社の建設計劃があり、その所要敷地廿萬坪等の平少年團幹部一行は所

石城の水の傳説
磐城民俗研究同志會

（2）

△籠場の瀧　昔夏井川の上流川龍村と小川村との間に江田の伴四郎といふ百萬長者があつて、瀧に大籠を掛けては魚を採つてゐた。或日誤つて腰の劒を水中に落したので歸宅後探し出しなくなるのだが、お前は現世で良い事をしてゐるから

と助けられた

△牛淵　双葉郡大堀村小丸にある牛淵にも機織姫の傳説がある

二、湖沼傳説

（金牛、技穴傳説）

△濁り沼　草野村北神谷字吉野作に祀られてある辨天様は豊間沼の内の辨天様の姉君に當るといふ事である。淋しい處で沼の水は何時も濁つてゐる上底が判らない、昔沼中にてつきねこの時若者が瀧壺に入つて見たところが立派な部屋があつて美しい娘が上には魚はのぼらないといふ

△鐘乳洞　五浦に鐘乳洞があつて、波の寄せる音が木魂してチャンポン〳〵といふのでチャンポンとも呼ぶ。水戸義公が雨宮又兵衛といふ者を伴れて入つて見たら鐘乳石を柱とした綺麗な部屋があつて美しい娘が機を織つてゐた。そして云ふには、此處は俗人の來べき所ではなく來た者は命がなくなるのだが、お前は現世で良い事をしてゐるから

と助けられた

△牛淵　双葉郡大堀村小丸にある牛淵にも機織姫の傳説がある

二、湖沼傳説

（金牛、技穴傳説）

△濁り沼　草野村北神谷字吉野作に祀られてある辨天様は豊間沼の内の辨天様の姉君に當るといふ事で

と助けられた

△牛淵　双葉郡大堀村小丸にある牛淵にも機織姫の傳説がある

二、湖沼傳説

（金牛、技穴傳説）

△濁り沼　草野村北神谷字吉野作に祀られてある辨天様は豊間沼の内の辨天様の姉君に當るといふ事で

就業のまゝ燈管
磐城セメント工場で廿七日縣下最初の試み

四倉町磐城セメント工場では來月の防空演習に備へて防護團を結成、來る二十七日夜七時から就業を中止せず數回に亘つて燈火管制の豫行を行ふが就業そのまゝの燈管は縣下最初の試みであると

防空演習に備へ

電氣關係協議

平署では今二十五日午前九時から同署會議室に管内電氣關係者を招き防空演習に際する連絡事項に關し打合せを

平少年團幹部歸町

去る十七日より三原山東山麓に於て開催された大日本少年團聯盟主催少年團指導者講習會に出席中であつた川崎團長、瓜田、水竹、上川、渡邊各指導員等の平少年團幹部一行は所

踊れ踊れ
愈よお盆が近づいて各炭礦の張り込み

黒ダイヤ景氣の波に乗つたる、新興第二磐炭では思炭礦の盆踊りは素晴らしい、ひ切つて六百名分の揃ひ着蓮十四日から三日間を心ゆを拵へ櫓を二階建にして最く迄踊り抜かせやうと入山高は音頭取り一階は囃子の名の揃ひ着を拵へ、更に磐城でも同様注文して三ケ所るとこれを参考にして充分調査檢討した上確固たる態度を決なければなるまい

知事さん
スピード視察

濱三郡町村長會は今二十五日午前九時から平第三小學校講堂に開き、伊藤知事、出石總務部長、庶務、地方兩課長等臨席、庶政一新、選擧粛正其他に關し縣から指示あり、午後三時閉會した

濱三郡町村長會議
伊藤知事以下を迎へけふ第三小學校講堂で

四倉蘭市場
けふ蓋開け
御祝儀値五圓？

秋蘭取引の四倉市場は愈よ今二十五日から蓋開けされ早くも各方面からの買人で賑ひ出したが、御祝儀相場は依然春蘭高の餘波を受けて五圓臺の高値を豫想されてゐた、中央金庫から四倉市場へ六萬六千七百圓、植田市場へ二萬七千圓融資された

投槍
投書歓迎

七夕に就ての一考察

◇美事に出來上つた初秋の宵のこのお祭りは、古きロマンスにまつはる星の情調味深き語り話と共にお盆の焚火を失つた平町にとつてはゆかしい一行事であると思ふ、而して此に伴つて單なるお祭騒ぎより一歩前進せよといふ趣旨の昨日の本紙の社説は確に意義深い一暗示であらう

◇それについて僕は又別な意味から、この七夕祭についてこれを平の眞の名物たらしむる意義からもう少し觀光者に對してのお土産物の製作に注意が深いと思ふ

◇仙台の七夕祭にあつては、初日に撮つた寫眞は次の日には繪葉書となつて觀光客を喜ばせてゐる。併しは、これは無理であらうがこれに代つて私はプロマイド式の四枚一組とか八枚一組とかで頒つのが賢明あないかと思ふ

◇或はその前年の寫眞を繪葉書といふかも知れないが、實際既に光景そのものの寫眞でなくては不足を感するものであり、プロマイド式にしても相當の好印象を與へるのは疑ひをはさむ餘地は無い

◇これと共に何か素朴味の豊富な七夕傳説に關する木工とか、何かの安價で雅味ある作品が小學生連の手工から生み出され、これまた手輕なお土産としたいものであると僕は考へる。かくしてこそ眞の平の七夕祭であらう　（久太郎）

富武海軍少將
四倉で講演

四倉町磐城セメント工場では來月五日富武海軍少將を招き四倉座で軍事講演會を催す、尚は六、七の兩日は磐城、入山兩炭礦で同様講演する

豚に小判勲章が泣く
曾ての勇士が悪の營み
一年二月を言渡さる

妻戀しの旅費に窮し時計屋專門に荒した當時住所不定米子市車尾生れ川崎市日本鋼管職工原田利衛（三六）は今二十五日平區香西判事から求刑二年に對し情狀酌量ないか』と言はれ懲役一年二ヶ月を言渡されたが利衛は

申上げます、原田は滿洲事變に出征、勲七等桐葉章を頂いてをります

と軍隊式に差引方を願願、判事から『勲章を持つてゐても悪事をしては駄目ではは、左様でありますか

又も軍隊式に諾し判官迎を

一年以上三年以下
恩典に反省しなかつた
札付不良に判決

起訴猶予數回の恩典に懲り豊間字原町佐俣春吉長男無職箱崎佐太（二八）假名―は今年二月廿五日平區香西判事係りた札つきの不良少年豊間村

昨夜の火事
原因提灯の不始末

七夕祭り最終の日で賑はつてゐた昨夜八時五十分頃平町才槌小路飲食店本田初吉方から發火、同家一棟を全焼、同三十分鎮火した、原因佛壇に吊した提灯の不始末、損害六百餘圓、一時は七夕見物人が押しかけ雑沓を呈した

公判
公判で求刑二年以上四年以下に對し一年以上三年以下の不定期刑を言渡された

御禮

昨夜出火の際は早速馳付消火に御盡力被下御蔭樣にて鎮火致し候段難有奉深謝候實は參上御禮可申上筈の處混雑中御尊名御伺洩れも可有之候付乍略儀以紙上御厚禮申上候

八月廿五日　敬白

搔槌小路　本田初吉

近火見舞御禮

昨夜近火の際は早速馳付消火に御盡力被下御蔭樣にて鎮火致し候段難有奉深謝候實は參上御禮可申上筈の處混雑中御尊名御伺洩れも可有之候付乍略儀以紙上御厚禮申上候

八月二十五日　搔槌小路　大河内一郎

大河内整形外科醫院

御禮

昨夜近火の際は御叮重な御見舞の辭を辱ふし難有深謝致します。乍失禮以紙上御厚禮申述べます　敬具

阿部政右衛門

御禮

昨夜近火の際は早速御駈付け消火に御盡力被下御蔭を以て鎮火致し候段難有奉深謝候混雑の砌り御尊名伺ひ洩れ等可有之候に付不取敢以紙上御禮申述候

昭和十一年八月二十五日　敬白

丸玉合名會社　馬目玉彌　平町土橋角

御禮

昨夜類焼の際は早速御駈付御見舞下され且消火に御盡力下され御蔭樣にて大事に至らず鎮火致候段難有御禮申上候、一々拜趨御禮可申上の處混雑中御尊名伺ひ洩れも可有之乍失禮以紙上御禮申述候

昭和十一年八月二十五日　敬具

元玉橋建具店改名　菊地建具店　菊地竹雄

近火御見舞御禮

昨夜近火の際は早速御駈付御見舞下され且消火に御盡力下され御蔭樣にて大事に至らず鎮火致候段難有御禮申上候、一々拜趨御禮可申上の處混雑中御尊名伺ひ洩れも可有之乍失禮以紙上御禮申述候

昭和十一年八月二十五日　平町搔槌小路　イワキ屋洋品店　綠川佳一

御禮

昨夜近火の際は早速御駈付け消火に御盡力被下御蔭を以て鎮火致し候段難有奉存候實は拜趨御禮可申上筈の處混雑中御尊名御伺洩れも可有之候付乍略儀以紙上御禮申上候

八月廿五日　平町搔槌小路　梶原時計店

謹賀新年

小泉英次　松屋吳服店　東京堂パン店　武藤治郎三郎　渡邊吳服店　松本源吾　大角茶舗

古鍛冶町　鹽屋山崎合名會社

謹賀近火御見舞　蓮沼龍輔

各位

日出　五、〇四　日没　六、一三　滿潮　後八、一五　干潮　前三、二五

二十六日（小名浜測候所發表）　月出　後一、二三　月没　後一一、一〇

諸判定廳舗　東京市本郷區湯島四丁目　高島易斷總本部　神藏堂

▲一白　思ふ事窟の如くなら予思案に暮るゝ日▲二黒　平穏に安んじて氣心のゆるむは緊張せられよ▲三碧　心に落付なくさ折る生じ易き日移氣を戒む▲四綠　誠實は信用のさきがけ努力は成功の基と知るべし▲五黄　走る兎も歩む亀に負くる事あり油斷は禁物▲六白　陰忍も時に依る氣を勵まして奮勵するに吉▲七赤　福祿身に附く良好の日なれど怠れば取雑し▲八白　内こうは手遊びの始め融和協力して事に當れ▲九紫　活動力盛にして氣運亦佳なり

舊七月十二日	水曜
日	十
寶宿	成
月	佛滅
庚辰	